

# いわた IWATA 市議会だより

平成18年

2006

8月15日発行

No. 7

編集 / 議会報編集委員会 磐田市国府台3-1 ☎〈0538〉37-4822 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>



あこがれのヘラクレスオオカブト 竜洋昆虫自然観察公園

## 6月定例会

市議会は、平成18年6月定例会を6月15日から7月5日までの21日間の会期で開催しました。本定例会では、市長提出の豊田循環バス条例の一部改正など6議案について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、議会推薦の農業委員会委員を決定するとともに、議員発議による「日伯間の犯罪人引き渡し条約締結に関する意見書」も可決しました。

なお、一般質問は、6月28日・29日・30日、7月3日の4日間にわたり16名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをいただきました。



## 主な内容

(ページ)

- 一般質問 ..... 2
- 市営豊田循環バス条例の一部改正 ..... 8
- 陳情、意見書等 ..... 9
- 審議結果一覧表、9月定例会の予定、特別委員会活動報告 ..... 10

# — 市政を問う — 一般質問

## 行財政改革の推進 地域の環境整備

無所属 山田安邦 議員

### 行財政改革

**質問** 中期財政見通しの目標達成に向けた具体的方策は。

**答弁** 歳入確保では、市税等の収納率向上対策や産業誘致等による税収増などを、歳出削減では、職員等の人件費の抑制や全事務事業の見直しなどを推進していく。



**質問** 定員適正化計画の職員削減の目標数値の算出根拠と10年間で340人を削減する

ブト制度を導入した経過は。  
**答弁** 協働のまちづくりの中で、官民の新しい役割分担という視点でやっていきたい。

**質問** 合併前より減少している道路等維持補修予算の算出根拠と今後は。

**答弁** 17年度の道路維持補修は当初低く見積もり、増収が見込まれる段階で増額補正した。18年度もそうしていきたい。

**質問** 道路維持管理業務を路線ごとに業者委託する考えは。

**答弁** 組織機構に合致した段階的な業務形態を研究し、取り入れるべきものは取り入れていきたい。

## 行財政改革を問う 公共施設の管理

日本共産党 根津康広 議員

### 行財政改革

**質問** 行革の先頭に立つというのならば、4年間で1、920万円支給される高額な市長退職金に、みずからメスを入れるべきである。見解を。

**答弁** 人気とりの手を入れるべきでなく、今後の全国的な見直しの動きの中で対応し

まちづくり計画主要事業への影響と優先事業の位置づけは。  
**答弁** 全事業の実施は困難であり、事業の先送りや取捨選択が必要になると考える。現在策定中の総合計画と整合を図る中で対応していきたい。

**質問** シンドラーエレベーター社製エレベーターの現状把握と保守管理体制、入札状況は。

**答弁** 市の公共施設にある7台が該当し、点検の結果異常はなかった。保守は年1回の法定点検と月1



は年1回の法定点検と月1

回の定期点検を行っている。入札は、特殊性があるためメーカーの保守部門と随意契約している。

**質問** アスベストによる健康被害状況調査と今後の撤去工事の予定は。

**答弁** 市の公共施設での健康被害発生は報告を受けていない。撤去工事は、18年度で5施設、19年度に残る6施設を予定している。

## 安心・安全のまちづくり 介護・福祉・労働

公明党 小野泰弘 議員

### 安全なまち

**質問** 今之浦・磐田久保川治水対策のための床上浸水対策緊急特別事業の国の採択見込みは。また、大池川放水路計画の今後の実現可能性は。

**答弁** 浸水被害解消施策をおおむね5年以内に完了させる事



**答弁** 学校等への配備の重要性は認識し

業で、採択に向け協議中である。放水路はこの代案で、現段階では検討していない。

**質問** 突然死から命を救うAED（自動体外式除細動器）を学校等にも配備し、さらに拡充する考えは。

**答弁** 学校等への配備の重要性は認識し

ており、来年度に一部でも導入が可能になるよう検討していきたい。

【質問】 通学路沿線の空き店舗や無人家屋などの点検状況と今後の対応は。

【答弁】 防犯の観点からはほとんど点検がされていない状況である。今後、自治会や防犯委員等と協力し、危険施設等の把握に努めていきたい。

介護・福祉・労働

【質問】 地域包括支援センターの各業務の現状と課題は。

【答弁】 開設後間もないこともあり、要支援1・2のケアマネジメントが業務の中心になっ

### 教育及び教育行政のあり方

無所属 野崎 正藏 議員

【質問】 家庭教育への支援等の具体的な取り組みと効果は。

【答弁】 家庭教育学級の全公立幼稚園での実施や家庭教育講座、家庭教育講演会の拡大を図り、市民が家庭教育の重要性等について理解を深めるよう努めている。



家庭教育講座

【質問】 特別支援教育における支援システムの構築は。

【答弁】 臨床心理士等の専門家による巡回相談や専門家チーム会議の実施等により支援体制の整備を図っている。

ている。今後は、関係機関等と連携を深めながら体制づくりを進めていきたい。

【質問】 母子家庭等自立促進計画を策定し、総合的な対策を。

【答弁】 現在実施している自立支援教育訓練給付金事業等の普及拡大を最優先に考えており、計画の策定は今後の検討課題としたい。

【質問】 市の入札に、障害者等の雇用などの公共性を評価する総合評価方式の導入を。

【答弁】 公共性は考慮すべきであり、先事例や県の動向を見ながら、今後導入の方向を検討していきたい。

【質問】 社会教育事業を推進する上での課題と取り組みは。

【答弁】 市民ニーズに対応した学びの場等の充実が課題で、生涯学習の基本方針となる生涯学習推進大綱・振興計画の策定作業を進めている。

【質問】 市長と教育委員会の権限関与や予算編成における裁量権限等の課題とあり方は。

【答弁】 教育委員会は独立した

### 静岡県市町村合併推進構想 市営墓地霊園

無所属 八木 啓仁 議員

合併構想

【質問】 静岡県が策定した市町村合併構想に、磐田市が中遠地区と県西部地区の両方に明記されている。その理由は。

【答弁】 県の構想の基本的な考え方の一つが、合併により生活圏と一致させた行政区域の形成を図ることである。磐田市は、通学圏、通勤圏、商業圏などの指標から一体性のある地域として、中遠地域においては袋井市と森町、浜松市を中心とした県西部地域においては浜松市、湖西市、新居町との二つの組合せで指定さ

【質問】 市営墓地霊園は、常に分譲提供できることが望ましいと考える。現状と対応は。

【答弁】 市営霊園は、八王子霊園ほか6カ所あるが、18年6月15日現在の貸し出し残の区画数は59区画で、年内に貸し出しが完了となる見込みである。今後は(仮称)第二竜愛霊園事業が完成までに時間がかかる想定されるため、早期の区画確保については、拡張用地がある福田霊園の増設の可能性を検討している。

【質問】 二つの地域との合併構想が示されたが、合併論議は市民が戸惑うことなく、明確に進めるべきと考える。更なる合併への考えは。

れている。

【質問】 市営墓地霊園は、常に分譲提供できることが望ましいと考える。現状と対応は。

【答弁】 市営霊園は、八王子霊園ほか6カ所あるが、18年6月15日現在の貸し出し残の区画数は59区画で、年内に貸し出しが完了となる見込みである。今後は(仮称)第二竜愛霊園事業が完成までに時間がかかる想定されるため、早期の区画確保については、拡張用地がある福田霊園の増設の可能性を検討している。



福田霊園

【質問】 市営墓地霊園は、常に分譲提供できることが望ましいと考える。現状と対応は。

【答弁】 市営霊園は、八王子霊園ほか6カ所あるが、18年6月15日現在の貸し出し残の区画数は59区画で、年内に貸し出しが完了となる見込みである。今後は(仮称)第二竜愛霊園事業が完成までに時間がかかる想定されるため、早期の区画確保については、拡張用地がある福田霊園の増設の可能性を検討している。

# 日銀の金融緩和策への対処

無所属 宮澤 博行 議員

**質問** 日銀は、18年3月に量的緩和の解除を打ち出した。今後ゼロ金利が解除され金利の上昇が見込まれるが（6月29日現在）、市債金利の現状と利率上昇に対する見解は。

**答弁** 17年度の市債利率は、銀行等の民間金融機関が1・55%、財務省の財政融資資金が2・00%、日本郵政公社の簡保資金が1・60%であり、16年度の旧磐田市分と比較すると、それぞれ0・4%から0・5%の上昇となっている。金利の上昇により新たな起債については金利の負担が増加するため、金利の動向を勘案しながらより慎重に対応する必要があると考える。

**質問** 市債利率が上昇し、支払利息も増加すれば、今後数億円という予算が余計に必要な見解は。

**答弁** 金利の上昇は、市債利息への影響ばかりではない。歳入面では各種基金の運用益の増額や市税収入の増加等のメリットにもつながることが

様化の3点から有効な手段と考える。研究を開始する考えはあるか。

**答弁** 自治体の資金調達手法の多様化や住民の行政への参加意識の高揚などの効果が着目され、毎年発行自治体数、発行額とも増加している。発行コストの低減や安定した資金調達とするためのノウハウの構築等、検討すべき課題も

ら、歳入歳出全体を見通していく必要があると考える。

## スポーツを通してのまちづくり 行財政改革

無所属 増田 暢之 議員

スポーツのまちづくり

**質問** 全国に一つしかない誇り高いまちづくり推進の中で、スポーツの振興とスポーツ施設の充実が掲げられている。スポーツを通してのまちづくり発展に対する見解と具体的な推進施策は。

**答弁** スポーツのまちづくり基本計画の基本理念の実現に向け、着実に進めている。具体的には、小中学校グラウンドの芝生化、スポーツボランティアの組織化等である。また、合宿などスポーツの

交流によるまちの活性化にも引き続き鋭意取り組んでいきたい。

**質問** 社会体育施設の管理・運営を委託しているNPO法人磐田市体育協会と磐田市振興公社との連携は。

**答弁** 毎月の文書による状況報告のほか、施設の修理等はその都度、現地確認や対応策を協議している。安心して施設を

## 国民宿舎の休館と今後 統合学校給食センターの事業手法

無所属 寺田 仁一 議員

国民宿舎

**質問** 遠州ふくで荘の休業に至る経緯は。

**答弁** 老朽化等により利用者の減少が続いている中、14年に耐震診断を行ったが、耐震補強工事は、費用対効果を考え実行しなかった。現状では東海地震等の大規模災害に対応できないと判断し、宿泊客

利用してもらえよう。随時連携を図っている。



多い。しかし、公的な資金にかわる有効な民間からの資金調達手段の一つと考え、先進自治体の例を参考に研究を進めたい。

**質問** 職員適正化と今後の支所の展望は。

**答弁** 職員削減は、業務の効率化など、市業務の削減も図りながら進める。支所機能は、住民に身近な窓口業務の提供を基本に検討したい。

政改革にかける見解は。  
**答弁** 新市総合計画を策定する中で、市の将来像を実現するための具体的な施策やイメージを明確にし、職員や市民の皆さんと目標を共有し進めていきたい。また、行財政改革の推進は、市民と行政が一体になって取り組むことが不可欠であり、市長としてリーダーシップを取って取り組みたい。



あ り め ゆ  
度、現地確認や対応策を協議している。安心して施設を



方等も考慮する中で、改築整備について検討したい。

給食センター

学校給食センターの事業手法検討と業務

開始までのスケジュールは。

整備手法は、早急に事業を進めたいことから公設とするが、運営方法は、民間委託を視野に入れた設計をした

い。今後のスケジュールは、18年度に測量及び基本設計、19年度にかけて実施設計を行い、20年度には業務を開始したい。

評価は、一人一人の子供の理解度に応じた指導ができるようになったことなどがある。課題は、市が国の基準を先取りしているので、財

面等の問題から制度改正をするよう強く要望したい。また、制度は継続していきたい。

県が試行を計画している「教職員評価制度」には、多くの問題があると考え、制度導入について見解は。

県の歩調に合わせながら試行に取り組み、目的が達成されるよう建設的な意見を発していきたい。

家庭から出る資源ごみを受け入れるリサイクルステーション設置の考えは。

リサイクルをより推進するため必要と考える。設置場所や開設日時等、利用しやすい方法を検討していきたい。

太陽光発電システム設置補助事業の検討を。

市の制度としての支援制度を検討していく。

昨年11月に食物アレルギー児への給食及び災害時の対応に関する要望書が「アレルギーの子どもをもつ親の会」から出された。親の会の声をどうとらえているか。

アレルギー児童対応は、子供の切実な願いでもあり、重要な課題だと認識している。

実務者レベルの学校給食アレルギー検討会の早期設置の考えは。

今後、モデル校を指定し、校長の指導のもと、学級担任、栄養職員、調理員など関係職員で食物アレルギー対応検討会を組織し、保護者及び医師とも連携を図りながら、できることから進めたい。

福田磐田統合学校給食センターにアレルギー対応食を盛り込む予定は。

アレルギー対応の程度を十分検討し、設計段階において前向きに考えていきたい。

市民から「市役所出入喫煙

り口付近での職員の喫煙は外見的によくない」、「職員が喫煙している出入り口は使用しづらい」などの意見があるが、これらをどうとらえるか。また、当該場所での喫煙についての今後の方向性は。

御意見を真摯に受けとめ、批判を受けないよう努めなければならぬと考える。今後は、職員の当該場所での喫煙は禁止していく。分煙の徹底と受動喫煙に対する認識を指導し、これまで以上にマナーの徹底を図っていく。

分煙室がない支所には、適数を適所に早期設置する必要性を感じる。職員には分煙室の利用を望むが、今後の方向性は。

当面は分煙の徹底を一層図っていきたい。

### 教育における諸課題 環境基本条例を生かしたまちづくりを

日本共産党 高梨俊弘 議員

#### 教 育

**質問** 政府は「教育の憲法」と言われる教育基本法を改定しようとしている。改定は必要ないと考えるが見解を。

**答弁** 改正案は十分理解できるものと認識する。今後の改正案に関する国の審議動向に十分注目していきたい。

**質問** 全国学力テストの実施は子供たちを競争教育に巻き

込むことになると考える。市として実施をするのか。

**答弁** 全国的な学力調査は実施する予定である。指導や学習等の改善を図る目的として活用し、序列化することがないように配慮していきたい。

**質問** 市が取り組んでいる35人学級「ふるさと先生」制度の評価と課題は。また、19年度以降も続ける考えはあるか。



制度を検討していく。

### 学校給食のアレルギー対応 市職員の市役所出入り口での喫煙

無所属 川崎和子 議員

#### アレルギー対応

**質問** 昨年11月に食物アレルギー児への給食及び災害時の対応に関する要望書が「アレルギーの子どもをもつ親の会」から出された。親の会の声をどうとらえているか。

**答弁** アレルギー児童対応は、子供の切実な願いでもあり、重要な課題だと認識している。

**質問** 実務者レベルの学校給食アレルギー検討会の早期設置の考えは。

**答弁** 今後、モデル校を指定し、校長の指導のもと、学級担任、栄養職員、調理員など関係職員で食物アレルギー対応検討会を組織し、保護者及び医師とも連携を図りながら、できることから進めたい。

**質問** 福田磐田統合学校給食センターにアレルギー対応食を盛り込む予定は。

**答弁** アレルギー対応の程度を十分検討し、設計段階において前向きに考えていきたい。

**質問** 市民から「市役所出入喫煙

り口付近での職員の喫煙は外見的によくない」、「職員が喫煙している出入り口は使用しづらい」などの意見があるが、これらをどうとらえるか。また、当該場所での喫煙についての今後の方向性は。



御意見を真摯に受けとめ、批判を受けないよう努めなければならぬと考える。今後は、職員の当該場所での喫煙は禁止していく。分煙の徹底と受動喫煙に対する認識を指導し、これまで以上にマナーの徹底を図っていく。

分煙室がない支所には、適数を適所に早期設置する必要性を感じる。職員には分煙室の利用を望むが、今後の方向性は。

当面は分煙の徹底を一層図っていきたい。

# 食育の推進 児童虐待防止対策

公明党 山際 今子 議員

## 食育

**質問** 食教育の重要性が見直されている。学校での食育の視点と学習指導の取り組みは。

**答弁** 正しい食習慣を身につけることを目的に、教員や栄養士が授業等で食の大切さなどについて指導している。



**質問** 学校給食での食育の取り組みと今後の方向性は。

**答弁** 栄養士が各学校の給食時間などに訪問し、児童等に食や栄養の指導を行っている。また、農林水産課等と連携し、地場産品を学校給食の献立に入れる地産地消の推進を検討しており、今後は生産者団体とも話し合い、恒常的な取り入れを目標に進めていく。

**質問** 栄養教諭の配置と期待する効果は。

**答弁** 県による栄養教諭の配置はないが、県では19年度の試行的配置を含め検討している。期待する効果は、子供たちの健康を保持・増進していく能力の育成がある。

**質問** 保育園、学校等における児童虐待防止の取り組みは。

**答弁** 児童相談所をはじめ、関係機関と連携し対応している。また、今年度から相談員

が定期的に保育園を巡回し、虐待発見や防止に努めている。

**質問** 被害に遭っている子供自身が、直接相談できる連絡先等を記載した「子ども SOS カード」を配付する考えは。

**答弁** 先進事例を参考に検討したい。

**質問** 児童虐待防止法改正後の本市の現状と対応策は。

**答弁** 相談件数はあまり大きな変化はない。相談後の対応は、危険な状態であれば緊急措置として一時保護をし、緊急を要さないケースでは関係機関でケース処遇会議を開催し、対応を協議していく。

# 本格的なまちづくり 住宅用火災警報器／太陽光発電

無所属 早川 勝次 議員

## まちづくり

**質問** 磐田駅前を含めた市中心部の活性化について、どのような将来像を考えているか。

**答弁** 現在手がけている駅周辺事業を早期に完了することにより、相乗効果による中心市街地全体の活性化を促進するとともに、民間投資を誘発し、求心力を持つ



国分寺跡

に当たり、遠江国分寺資料館の建設を計画している。今年度は基本設計を行い、21年度のオープンを目指している。また、

復元整備のための発掘調査等も予定している。

**質問** 市周辺部の活性化に向けたハード・ソフト面をどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 施策の推進に当たっては、事前に具体策を示しながら、地域の皆さんの意見もできるだけ反映しながら進めていきたい。

**質問** 住宅用火災警報器の設置義務化を契機とし、悪質商法の増加が心配される。不当販売防止対策の考えは。また、ひとり暮らしの高齢者や低所得者に対する支援は。

**答弁** 19年4月の開所に向け準備を進めている。

**質問** 紫外線対策として、竜洋地区で採用している日よけ用たれつき帽子サンハットの導入計画はあるか。

**答弁** 紫外線を大量に浴びすぎると、健康に影響があるこ

得者に対し、無償または補助制度導入の考えは。

**答弁** 警報器の設置と不当販売の防止について、機会をとらえてPRしていきたい。低所得者層を含めた補助制度のあり方や必要性の有無については今後検討していく。

**質問** 太陽光発電を身近なエネルギーとして大勢の方々に利用してもらうため、個人・共同住宅への太陽光発電設置に対し補助制度の実現を。

**答弁** 積極的に実施する方向で検討していく。

# 子供を取り巻く環境整備 CO<sub>2</sub>削減推進

無所属 玉田 文江 議員

## 環境整備

**質問** 放課後児童クラブ未開設の豊浜小・豊岡東小学校区へ開設計画はあるか。

**答弁** 19年4月の開所に向け準備を進めている。

**質問** 紫外線対策として、竜洋地区で採用している日よけ用たれつき帽子サンハットの導入計画はあるか。

**答弁** 紫外線を大量に浴びすぎると、健康に影響があるこ

の計画では、CO<sub>2</sub>排出量削減のためにサマーカジユアル期間の設定など、これまで実施してきた対応を継続・推進していく。当面はソフト事業で対応していくが、環境基本計画を策定する中でさらなる改善を加えていきたい。



電動アシスト自転車

**質問** 電動アシスト自転車のレンタル制度を、全市域へ拡大する考えは。

**答弁** レンタサイクルをはじめ、自転車を活用したまちづくりは、各施設利用者のニーズや各地域におけるまちづくりの動向を見た上で、全市での展開の必

要性などについて検討を加えていきたい。

**質問** 自転車と歩行者の安全を守るため、自転車通学の多い道や新設道路に自歩道分離の考えは。

**答弁** 車道改良とあわせ、自転車や歩行者道の段差解消や幅員確保に努め、市全域を見渡した整備を行っていきたい。

## 少子化対策と子育て支援

公明党 鈴木喜文 議員

**質問** 少子化対策として、不妊治療に対する市独自の経済的支援が、絶対に必要と考えるがどうか。

**答弁** 現在、市の補助制度が整っていないため、県で実施している制度を案内している。支援制度を実施している他市町の実態把握に努め、来年度予算に向けて具体的に検討をしていく。

**質問** 市立総合病院に不妊専門外来の設置や婦人科と産科の分離や配慮、不妊治療のストレスや不安を解消するためのカウンセラーの配置が必要と考えるがどうか。

**答弁** 不妊の方への対応の必要性は指摘どおりだが、無菌培養室などの場所や医師等の人的確保が課題である。不妊治療は専門医師にお願いし、妊娠した方の対応は市立総合病院が担うという役割分担の考えで進めていきたい。

**質問** 市立総合病院での助産師外来設置の考えは。

**答弁** 助産師確保に全力で取り組みんでおり、条件が整い次第、検討していきたい。



児童クラブ後放課

**質問** 本年4月から市内全域で社会福祉協議会に委託となった放課後児童クラブの現状と課題は。

**答弁** 運営や指導員の処遇等は全クラブで足並みをそろえた活動ができるようになった。課題は、受け入れ年齢・時間の拡大などがあるが、常に利用者の立場に立つて、できることから改善していきたい。

**質問** 福田磐田総合学校給食センター建設に当たり、アレルギー対応食を取り入れていくことに、市長の考えは。

**答弁** どこまでお金がかかられるか、対応はどこまでできるかを十分考えながら、センター建設に当たって現実的に進めていきたい。

## 介護・医療・福祉の充実をスポーツ施策の充実とひとづくり

日本共産党 稲垣あや子 議員

介護・医療・福祉

**質問** 介護保険法改定後の利用実態と、地域包括支援センターの事業実績と課題は。

**答弁** 施設における居住費等が給付対象外となったが、退所や利用抑制したという報告は受けていない。支援センター全体のケアマネジメント数は、4月と5月で217件である。今後、件数の増加が見込まれ、支援センターが担当する割合がふえるが、居宅介護支援事業所と連携し、業務推進できるように指導していく。



中学校体育館

**質問** 小規模授産所などの利用者には市独自の負担軽減策は、現時点では考えていない。

スポーツ施策

**質問** スポーツ施設の減免制度の実態と拡充は。また、中学校の部活動は午後6時半を過ぎると有料になるのか。

**答弁** スポーツ少年団は75%以内の減額をしている。減免の拡充は考えていない。中学校の部活は、事前に届けがあれば無料に対応している。

**質問** 介護保険料の減免及び国保税の申請減免の拡充を。

**答弁** 現時点において、今の制度を変えるつもりはない。

**質問** 国保の高額療養費貸付制度の利用実績と窓口対応、医療機関への協力要請は。

**答弁** 17年度の利用は222件である。窓口では相談があ

**質問** スポーツ少年団等の育成の現状と課題は。

**答弁** 現在、少子化による団体の減少が現状である。指導者の養成が必要であり、適切な指導が受けられるような環境づくりに努めていく。

## 農業の担い手と耕作放棄地の対策 情報化の推進・電子自治体の構築

農業

無所属 岡 實議員

**質問** 農業従事者の高齢化と耕作放棄地の状況の推移は。

**答弁** 本市の65歳以上農業就業人口は3,025人で、10年前との比較では242人減少したが、総就業者に占める割合は12ポイント増加した。また、耕作放棄地は一部推計となるが、遊休農地面積として、18年2月時点では67haであり、14年度と比較し17ha増を見込んでいる。



遊休農地

**質問** 株式会社などが農業に参入できるようになった改正農地法等がもたらす影響と、市の対応は。

**答弁** 法人参入の仕組みについて検討し、4月から市が間に入った遊休畑の貸出制度が始まった。実際に企業等から申し入れがあれば参画できるような積極的に対応していく。

**質問** 技術習得の場の確保、市民農園の拡大、企業への農地貸付のほか、農地集積、経営の企業化・協業化、集落営農の推進等の事業を総合的に実施していく。

**質問** 公共施設予約システムの充実。

**答弁** 本年度中に、より多くの施設でインターネット予約ができるよう準備している。

**質問** 電子申請システムの導入状況は。

**答弁** 現在、県内の市町共同でシステム構築を行っており、来年1月からサービスを開始する予定である。

**質問** 市は、電子入札システムの導入を予定しているが、そこはないか。

**答弁** 県との共同利用に対応するシステムを採用する予定である。19年度後半に導入を予定している。

## 市営豊田循環バス条例の一部改正を可決

今回の改正は、自主運行バス事業について、合併の効果を発揮させ、駅や公共施設など主要な施設を結ぶことにより、地域間交流の促進や諸施設の活性化を図りながら、利用客の増員を図ることを目的とするものである。

内容は、旧豊田町地域を循環して走行している市営豊田循環バスを、一言国道「一言国道」バス停から東に磐田駅まで延伸するものです。途中、中泉公民館を経由して磐田駅まで延伸するものです。

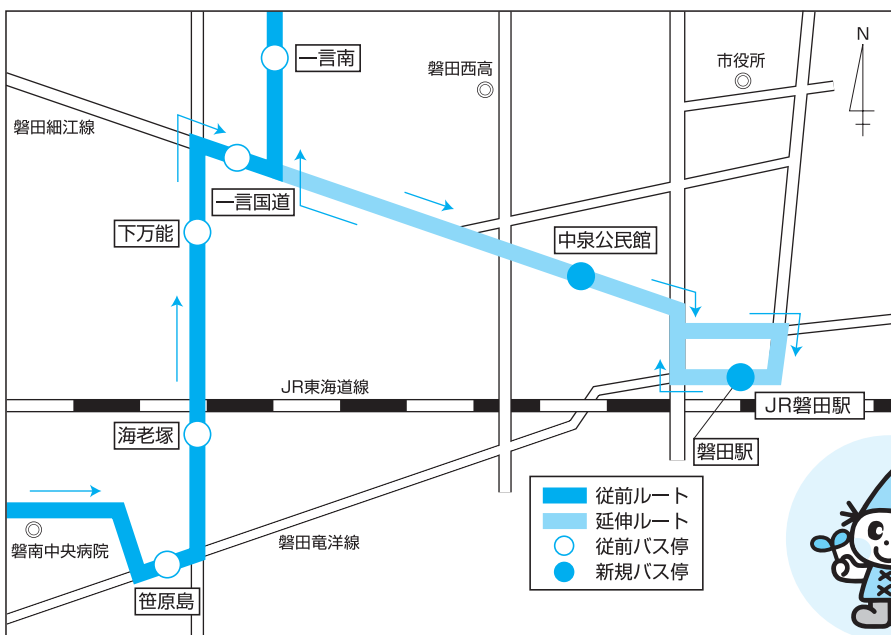
田駅まで行き、同じ道を引き返して「一言南」バス停へ進むルートとなります。延伸により「中泉公民館」及び「磐田駅」の二カ所にバス停を新設し、ダイヤも変更され、18年8月1日から実施されます。全会一致により可決。

### 豊田循環バスの路線を一部延伸

変更路線：豊田東回り線（ユーバス・ニッセ号）  
 変更内容：一言国道バス停から東へ進み、中泉公民館を経由して磐田駅へ向かいます。磐田駅で折り返して一言南バス停へ向かいます。  
 変更日：平成18年8月1日

ダイヤ（抜粋）

バス停名	1 便	2 便	3 便	4 便	5 便	6 便	7 便
豊田町駅	8:11	9:34	10:54	12:19	13:49	15:19	16:49
中泉公民館	8:27	9:49	11:09	12:34	14:04	15:34	17:04
磐田駅	8:31	9:53	11:13	12:38	14:08	15:38	17:08
中泉公民館	8:35	9:57	11:17	12:42	14:12	15:42	17:12





◎日伯間の犯罪人引き渡し条約締結に関する意見書

(内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長あて)

静岡県西部に位置する磐田市は、人口約17万5千人のうち約9千人の外国人が定住し、その約75%がブラジル国籍である。このような状況下で、市としてもブラジル国籍以外の外国人を含め、市民との共生社会を目指し、鋭意努力を重ねているところである。

しかし、残念なことに、外国人が犯す凶悪な犯罪が、この地域で多数発生をして、まじめに働き生活をしている外国人や、その地域に住む日本人との関係にも大きな問題として影響しかねない状況にある。

とりわけ、この県西部において、次の3件の凶悪事件が市民に大きな不信感や不安感を与えている。すなわち、1999年7月に浜松市内で女子高校生が死亡したひき逃げ事件、2005年10月に湖西市で幼児が死亡した交通事故、同年11月の浜松市内のレストラン強盗殺人事件である。この3件は、いずれも善良な市民が巻き込まれた事件であり、その犯人はいずれもブラジル国籍であった。しかも、そのいずれの事件も、警察等の努力から、犯人の身元まで割り出したにもかかわらず、逮捕前に母国のブラジルに逃げ帰っている状態であり、母国での捜査については、いずれも不明である。

それらの被害者の気持ちを思うと、一刻でも早く、犯人の逮捕が望まれるところである。しかし、残念ながら、日伯間には、犯罪人引き渡し条約の締結が行われていない。

よって、国におかれては、一刻も早く以下のとおり対応するよう強く要望する。

- 1 日本とブラジルの二国間における犯罪人引き渡し条約の締結を早期に行うこと。
- 2 次善の策として、国際刑事警察機構（ICPO）等の国際的な組織を活用し、犯人の逮捕に向け、積極的な行動に出ること。

・陳情・

障害者自立支援法における地域生活支援事業の実施についての陳情

【陳情者】

磐田市視覚障害者協会

会長 松下 信雄さん

理事長 伊藤 定善さん

理事 片桐 正美さん

理事 山本 か彥さん

理事 鈴木眞喜子さん

理事 山下 糸重さん

本陳情の内容は、本年10月から実施される地域生活支援事業について、視覚障害者にとって利用度が高い移動支援事業を中心とした地域生活支援事業利用に当たり、利用者負担額は本人所得により算定すること、移動支援事業利用に当たり、年間240時間まで利用者負担を無料化すること、移動支援事業利用に当



・陳情と請願・

陳情・請願は、ともに市等の機関に対して実情を述べ、適当な措置を講じるよう要望する行為をいいます。

陳情・請願に対し、議会の意思により決定される審議結果としては、採択、不採択、継続審査等の扱いがあります。また、修正はできませんが、趣旨採択、一部採択の扱いをすることがあります。

陳情・請願が採択された場合、執行機関は要望どおりの処理を義務付けられるものはありませんが、陳情・請願が住民の要望であることや議会が賛意を表していることから、無視できません。

陳情と請願には、請願が、憲法により保障されている請願権に基づき行われる行為で、議員の紹介により請願書を提出しなければならないのに対し、陳情は、議員の紹介を必要としないことなど、形式的な違いがあります。

人事議案

議会推薦の農業委員

河島 直明

たり、支給量を設定するなり、月単位でなく年単位にすること、日常生活用具の給付品目指定に当たり、当事者ニーズを反映し、時代の変化に即応した給付を図ること、相談事業推進に当たり、障害種別に配慮し、障害別当事者相談員の養成、育成、活用を図ることの5項目について、実現への尽力を要望するものです。所管の民生病院委員会で慎重に審査した結果、「今回の陳情は、国の大きな制度改革に起因したものであり、障害者にとっては不安がいっぱいのことと思う。陳情内容は、この制度の影響を受ける受益者にとっては当然のことと思うが、国から地域生活支援事業の細部の指針が示されていない状況の中での判断は、委員の立場からすると無責任と言わざるを得ない。広い視野から判断すると、採択することとは障害者全体から考えるとプラスに作用するとは思えない」等の意見により「不採択とすべきもの」と決定。7月5日の全員協議会においても委員長報告に賛成25（無）、反対8（公・共・無）により「不採択」と決定しました。

## 審議結果一覧表

全会一致により可決・同意された議案

- (1) 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (2) 市営豊田循環バス条例の一部を改正する条例の制定
- (3) 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定
- (4) 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (5) 市道の路線変更
- (6) 人権擁護委員の候補者推薦の意見
- (7) 日伯間の犯罪人引き渡し条約締結に関する意見書

そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 農業委員会委員の推薦
- (2) 閉会中の継続調査
- (3) 市議会議員の派遣

## 本会議・委員会を傍聴してみませんか

市政の様子を知るには、何といても議事を傍聴することが一番です。あなたが貴重な一票を投じた議員の発言や活動を直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。

傍聴を希望する方は、傍聴したい本会議または常任委員会等の当日、受付（本庁舎5階議事事務局内）で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってから、本庁舎6階の議場または委員会室にお入りください。団体の場合は、代表の方が手続きをしていただければ結構です。

## 9月定例会の予定

— 9月4日～10月10日（37日間） —

日程は変更する場合がありますので、事前に議事事務局（電話 37 4822）までお問い合わせください。

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 9月4日  | 本会議（議案の上程、説明・質疑）          |
| 5日    | 本会議（決算議案等の上程・説明）<br>常任委員会 |
| 6日    | 常任委員会（審査予備日）              |
| 13日   | 本会議（議案に対する質疑）             |
| 14日   | 本会議（議案に対する質疑等）            |
| 15日   | 本会議（一般質問）                 |
| 19日   | 本会議（一般質問）                 |
| 20日   | 本会議（一般質問）                 |
| 21日   | 本会議（一般質問予備日）              |
| 22日   | 特別委員会                     |
| 25日   | 特別委員会                     |
| 26日   | 特別委員会（審査予備日）              |
| 27日   | 特別委員会                     |
| 28日   | 特別委員会（審査予備日）              |
| 29日   | 常任委員会                     |
| 10月2日 | 常任委員会                     |
| 3日    | 常任委員会（審査予備日）              |
| 10日   | 本会議（議案の採決等）               |
- いずれも午前10時から

## 特別委員会活動報告

市議会では、本年度3つの特別委員会を設置し活動しています。

行財政改革特別委員会

- (1) 第1回（平成18年6月23日）
  - ・行財政改革大綱について
  - ・行財政改革大綱実施計画のポイントについて
  - ・行財政改革の進行管理について
- (2) 第2回（平成18年7月18日）
  - ・財政に関する事項について
- (3) 第3回（平成18年7月31日）
  - ・財政に関する事項について
  - ・行政サービスに関する事項について

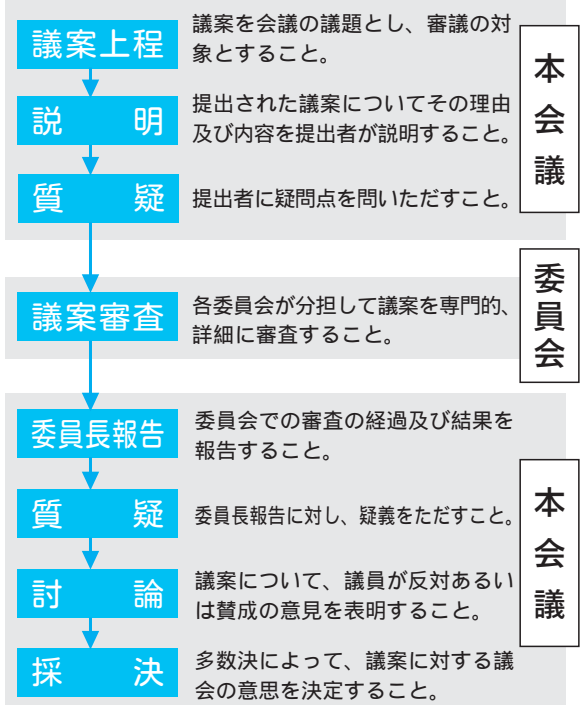
ごみ処理施設特別委員会

- (1) 第1回（平成18年6月9日）
  - ・市クリーンセンター及びごみ処理施設建設予定地の見学
- (2) 第2回（平成18年6月16日）
  - ・新ごみ処理施設についての勉強会
  - ・今後の委員会運営について
- (3) 第3回（平成18年7月10・11日）
  - ・視察研修（岐阜県可児市、関市）
- (4) 第4回（平成18年7月25日）
  - ・視察研修（掛川市、島田市）
- (5) 第5回（平成18年7月31日）
  - ・新ごみ処理施設についての意見交換

医療問題特別委員会

- (1) 第1回（平成18年6月16日）
  - ・委員会の対象と範囲について
  - ・委員会の協議結果の効力について
  - ・委員会の年間スケジュールについて
- (2) 第2回（平成18年7月5日）
  - ・平成17年度磐田市南部救急医療機関基礎調査業務報告書について
  - ・磐田市を取り巻く医療の現状について

## 議案採決までの流れ



請願についても同じ流れです。